

きずな

2011年 2月17日

NO 826

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

2月13日に井原市神代町の井原市ふれあいセンターで「第18回 ふれあいセンターまつり」が開催されました。その様子を写真でお知らせします。



読者ニュース「きずな」に対するご意見や情報をしんぶん赤旗の配達・集金者にどしどしお寄せください。

井原さくらライオンズクラブ認証30周年記念事業で講演会

聴衆は、的川先生の「はやぶさ」打ち上げから回収までの話に感激・魅了される

13日午後1時から井原市民会館大ホールで、井原さくらライオンズクラブが認証30周年記念事業として、的川泰宣（まとかわやすのり）JAXA宇宙教育センター長を招いて「青少年健全育成事業 記念講演会」を開催（写真右）しました。

会場には宇宙や天体、ロケットなどに関心のある子ども連れの親子など300人（主催者発表）が入場し、的川先生の話に熱心に聞いていました。

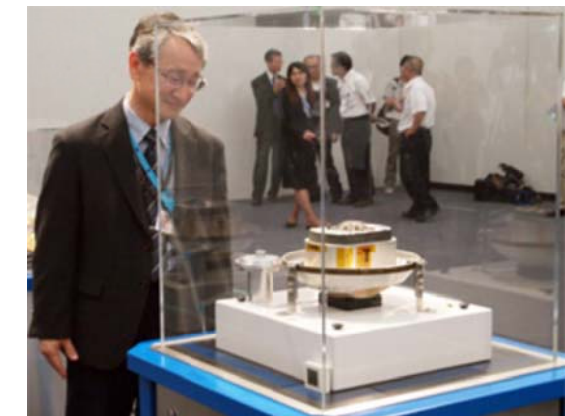
先生は『小惑星探査機「はやぶさ」と日本』と題し、「はやぶさ」打ち上げの計画から、打ち上げ、小惑星「イトカワ」表面への降下、「イトカワ」からの離陸、この間の様々なトラブルを、たとえ話など折り込みながら、素人に分かりやすく説明してくださいました。「イトカワ」を離れてから行方不明になった様子、行方不明になったあとも休むことなく探し続けた様子が語られました。

探し続けていた時、「イトカワ」から反応があり交信復活、この瞬間から、今度は地球帰還に向けての作業が始まり、この中でも様々なトラブルがあった様子が詳細に語られました。

エンジントラブルの対応についても、担当者の「はやぶさ」打ち上げ直前のエンジン復帰の処置がされていたことが功を奏し、エンジンが作動し無事地球に帰れたことなど細かく話されました。

講演は先生のお話が大変具体的だったし、各部門の担当者の人となりなども話され、トラブルのたびにどう対応したかなども克明に語られたこともあって、聞いていた筆者は（他の人もそうだと思いますが・・・）感激しっぱなしの2時間でした。

なんと言ってもスタッフ全員のチームワークが、世界初の偉業を成し遂げた原動力になったようです。



回収したカプセルと「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーを務めたJAXA川口淳一郎教授



探し求めていた「はやぶさ」と交信できた瞬間の波形

井原市政に対するご意見・ご要望をお寄せください。

2月28日(月)が井原市議会2月定例会の開会予定日です。この議会に向け、現在、皆様の声を聞きながら質問の準備をしています。

皆様のご意見・ご要望が1つでも多く実現するよう奮闘したいと考えています。皆様の井原市政に対するご意見・ご要望をお近くの党員か下記の電話等にお気軽にお寄せください。

日本共産党後援会事務所 TEL 62-6200 FAX 62-6209
森本ふみお宅 TEL 62-6061 FAX 62-6081

この「きずな」は森本ふみお議員のブログ (<http://jcp-seibu.sakura.ne.jp/morimoto/>) でも見れます

生活に役立ち勇気と確信のわくしんぶん[赤旗]をお読みください(月額日刊紙2,900円日曜版800円)